

名刺交換をさせて頂いた皆様にお届けしています。

つくし会通信

発行：一般社団法人高齢期サポートつくし会 創刊号 2015年8月

つくし会からのメッセージ

つくし会では、その活動の中で成年後見や相続・遺言などに関する書籍や研修資料を見る機会が多くあります。また、新聞や雑誌にはこれらに関する様々な事例が取り上げられています。そして、高齢期にある方々に対応されている皆さんの日々の思いがあります。それらのほんの一部ではありますが、一つの紙面に集約し、皆さんにお届けします。業務のちょっとしたヒントに、そしてひと時の息抜きになれば幸いです。



平成27年度版高齢社会白書から

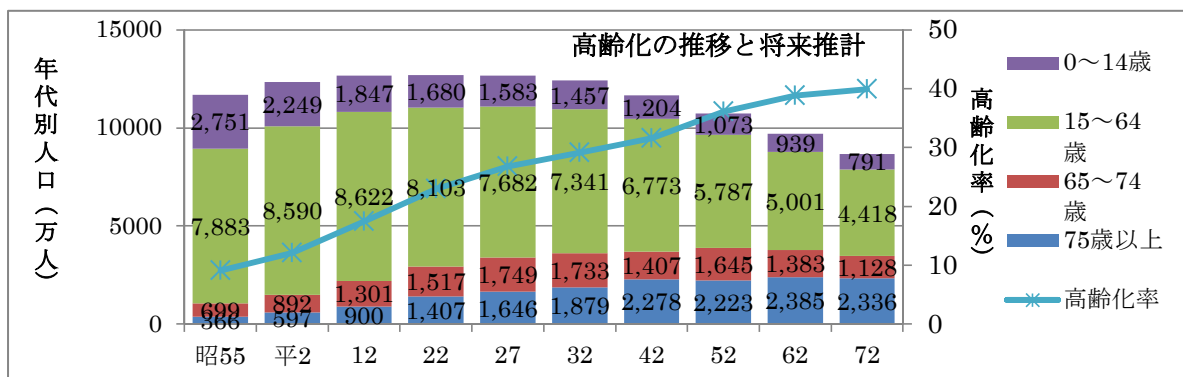
つくし会通信の記念すべき創刊号のトップ記事に「平成27年度版高齢社会白書」(平成27年6月12日閣議決定)を取り上げました。国の白書と言えば、経済財政白書や国土交通白書なんかが比較的有名ですが、各省庁計では、40以上もの白書が出されているんですね。厚生労働省から出されているこの白書は、平成8年から政府が毎年国会に提出している年次報告書です。

私どもの業務や、このつくし会通信をお配りさせて頂く皆様にとって参考になるデータや方向性が示されていると思います。以下に高齢化率の推移を述べた部分を抜粋してみました。

5年後には、全国ベースで65歳以上の人口が3割近くにまで達するんですね。

○平成27年には、2.5人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上

- ・総人口が減少する中で、高齢化率は上昇
- ・高齢者人口は、いわゆる「段階の世代」(昭和22年～24年に生まれた人)が65歳以上となる平成27年には3,395万人となり、その後も増加。平成54年には3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じるが高齢化率は上昇。
- ・平成27年には、高齢化率は39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以上。
- ・平成27年には、75歳以上人口が総人口の26.9%となり4人に1人が75歳以上。



白書掲載のグラフを簡略化し再掲載しました。

標記白書は政府刊行物サービスセンター(札幌市北区北8条西2丁目第1合同庁舎内)にて販売しています。

地域包括ケアシステムってなに？

ご存知の方はどうの昔にご存知だと思いますが、私は、6月26日付けの北海道新聞で記事を見て初めて知りました。

その記事の見出しは3本あって、次のような内容でした。

○厚生労働省が提唱「地域包括ケアシステム」

○推進には不可欠、医療・介護の連携

○情報共有 現場に「難しい」の声

そして、記事の冒頭の一文は次のとおりでした。

高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられる社会を目指す「地域包括ケアシステム」。高齢者が認知症などになっても安心して暮らすには医療、介護を一体で受けられる環境が必要だ。厚生労働省は市町村などに地域包括ケア推進を呼びかけるが、医療と介護の連携には、高齢者の在宅医療や介護に関する情報交換などで課題も多い。



この記事では、南区で開催されたケアマネの研修会に北海道庁の担当課長が来て地域包括ケアシステムの説明をしていることも報じられていました。興味をもってネットで調べてみたら、この考え方は、平成25年8月に国が取りまとめた報告書において示された考え方なんですね。ここでは、スペースの関係上、報告書の内容に触れることはできませんが、それは、「地域包括ケアシステム」を国、政府として推進するという宣言書的な内容でした。報告書が出て2年が経過していますが、私は、この方向性をごく自然に受け入れたいと思っています。さて、介護や医療の現場で働く皆さんの気持ちはどうなのでしょう。まずはそこら辺を私は知りたいです。そして、つくし会は札幌の手稲区、西区、豊平区を中心に活動している団体ですので、**例えばですが、これらの区で「〇〇区地域包括ケアシステム」を、実験的、モデル的に、小さなシステムとして作ってみませんか。そして、そのための勉強会作ってみませんか。興味のある方、是非、下記富舛までご連絡ください。勿論、職種、年齢問わずです。**



(投稿) 今、私は・・・ 札幌立花病院 PSW 牛島 千恵

つくし会通信の創刊おめでとうございます。

栄えある第1号の執筆に恐縮しながらも、最近の体験などを少し書かせて頂きます。私は病院で医療相談員をさせて頂いておりますが、最近入院の際に必要な保証人がいらっしやらない方(夫婦のみで子供がいない、夫婦が内縁関係、親戚付き合いがない)が増えてきたように感じます。また、お子様がいらしても先に亡くなられるというケースもあります。老老介護の時代、お子様と言ってもお年は70代後半、天に召される順番が逆になることもしばしばです。世話人を突然失い、自らの預金を引き出す事も難しくなった患者様に銀行は結構冷たいです。(その支店にもよりますが) あっさり「成年後見人を付けて下さい」と。成年後見人といってもそう簡単に申立て出来るケースばかりではなく、こういった時につくし会さんの様な存在をととても頼もしく感じます。

頼りになる会との出会いに感謝しつつ、私の老後もお願いしますね、つくし会さん。

一般社団法人 高齢期サポートつくし会 (文責 代表理事 富舛 和夫)

住所：〒006-0851 札幌市手稲区星置1条1丁目9番8号

TEL：011-215-6972 FAX：011-215-6973

E-mail：k-tmms@f7.dion.ne.jp

一般社団法人 高齢期サポートつくし会

検索

つくし会通信は隔月発行です。

お願い：今後この「つくし会通信」の送付をご希望されない場合は、恐縮ですが TEL、FAX、E-mail いずれの方法でも結構ですのでご連絡ください。